安全データシート

改訂日：2025年4月9日

1. 製品及び会社情報

製品名	ぎ酸ナトリウム
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁眼3番11号
電話番号	(06)6231-3555（大阪・本社） (03)3246-2311（東京） (0268)22-5910（上田） (052)504-2221（名古屋） (082)537-0290（広島）
整理番号	BB0053

2. 危険有害性の要約

GHS分類	データ不足のため、全ての項目で「分類できない」または「分類対象外」
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	ぎ酸ナトリウム
別名	ぎ酸ソーダ
化学式又は構造式	HCOONa
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN：141-53-7
成分及び含有量	95%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(2)-676/公表
その他	HSコード：2915.12

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水と石鹸で洗うこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	吸入：咳、咽頭痛。 眼：充血、痛み。
応急処置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項	該当情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	該当情報なし。
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	一酸化炭素および水素を生じる。 爆発の危険を生じる。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	こぼれた物質を密閉式容器内に掃き入れる。 粉塵をの拡散を防ぐ。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気・全体換気)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 皮膚との接触を避けること。 飲み込まないこと。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策	該当情報なし。
適切な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度等	
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
濃度基準値	8時間: 未設定 短時間: 未設定
設備対策	空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	結晶性粉末
色	無色又は白色
臭い	該当情報なし。
融点/凝固点	253℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	350℃
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火点	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	7.0～8.5 (50g/L, 20℃)
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	水に溶けやすく、エタノールに溶けにくい。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	1.9g/cm^3
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	加熱すると、分解し、一酸化炭素および水素を生じる。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸性物質
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、ギ酸

11. 有害性情報

急性毒性	LD50(経口-マウス):11,200mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	短期(急性): 該当情報なし。 長期(慢性): 該当情報なし。
残留性・分解性	良分解性
生態蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。
応急措置指針番号	—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
労働安全衛生法	毒物及び劇物に該当しない。
毒物及び劇物取締法	名称等を表示し、又は通知すべき有害物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。

16. その他の情報

引用文献	NITE-CHRIP（製品評価技術基盤機構HP） 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) 17423の化学商品

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報　データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。